

義援活動&節電協力「Pray for Japan」に期待の声

2011年度『インテリア ライフスタイル』が開催！

2011年6月1日(水)、ライフスタイル提案型国際見本市『インテリア ライフスタイル』が東京ビッグサイト西1、2、4ホール、アトリウムにて開幕した。会期中の3日間、16カ国・地域から521社(国内:452社・海外:69社)が出展し、ハイエンド・ハイデザインな最新インテリア・デザインプロダクトが一堂に会する。東日本大震災により時代のニーズが変化中、エコ・エシカル・グリーン・節電などのキーワードに関連した出展製品や特別企画などが展開され、“新しいライフスタイル”が提案される。

被災地支援&節電協力／Pray for Japan

今回の開催では「Pray for Japan」をスローガンに掲げ、著名テキスタイルブランド複数社のテキスタイルを用いた特別「避難所用簡易間仕切りシステム」の設置をはじめとする義援活動、インテリア業界をリードするデザイナーやビジネスリーダーからのメッセージ掲示、そして展示会場でのエネルギーセーブに取り組む。また海外の出展者による義援活動も見逃せない。今回の『インテリア ライフスタイル』は、被災地の復旧・復興支援はもちろんのこと、日本人がこれから求めるライフスタイルを実現するための有意義な開催となることは間違いない。

■著名テキスタイルブランドのテキスタイルを用いた「避難所用簡易間仕切りシステム」を被災地へ

同見本市は、「インテリア・デザインにより少しでも被災地を元気づけたい」という願いから、世界的な建築家の坂茂氏が1995年に設立したNGO「ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(VAN)」が行う「東日本大地震 津波 支援プロジェクト」へ協力する。VANでは、避難所での被災者の生活を少しでも改善するため、避難所内に「簡易間仕切り」を作る活動を行っているが、同見本市では西2ホールの出入り口そばに「避難所用簡易間仕切りシステム」を設置し、インフォメーションスタンドとして活用する。また通常使用される無地の木綿布に代わり、Kinnasand、DAN、SAHCO、JAB、RUBELLI、DESIGNERS GUILD、NEED'K、Christian Fischbacherからの協賛を得て、各有名ブランドの美しいテキスタイルを用いる。同見本市だからこそ実現できる企画となり、必見だ。会期後に被災地への提供を行うほか、会場内に募金箱を設け、同プロジェクトへの支援を呼びかける。

■イギリスと日本のデザイナーから子供達へ「TO JAPAN WITH LOVE The Give-A-Smile Toys Project」

今回の出展者であるTHE BRITISH EUROPEAN DESIGN GROUP(BEDG)は、大切な人達、家、そして思い出の詰まったおもちゃまでもなくしてしまった被災地の子供達のために「ギブ・ア・スマイル トイ プロジェクト」を実施することにした。イギリスと日本のデザイナーが手を組み、同見本市における「ギブ・ア・スマイル トイ」の出展を通じて、展示品の提供、義援金活動などの被災地支援を行なう。愛が一杯のデザイナーによるおもちゃが、被災地の子供達へ笑顔を届ける。

■「六本木農園」プロデュースのTrend Cafe 被災地支援ドリンクを提供

野菜や農家が話題を集める中、会期限定「Trend Cafe(トレンドカフェ)」のプロデュースを“全国の農家・こせがれが作る農業実験レストラン「六本木農園」」が行う。グリーン・エコ・エシカルなどをテーマとしたアトリウム

特別企画「design plantation」に併設され、新鮮で美味しい野菜と、同企画の提案を楽しむことができる。そして義援活動として、被災地支援ドリンクを提供し、その売り上げの一部を寄付する。

■ Believe In Japan. Believe In Design.

インテリア・デザイン業界を牽引するデザイナーや著名人からのメッセージ

今回、「Believe In Japan. Believe In Design. – 信じよう、デザインの力。」と題し、インテリア・デザイン業界をリードするデザイナーやビジネスリーダーから被災地、そして日本へのメッセージが寄せられた。「みんなの笑顔のために」という思いが詰まったメッセージは、会場で配布されるフロアガイド、そしてアトリウムで読むことができる。

■ インテリア効果も重視した、節電協力提案

『インテリア ライフスタイル』では、会期中の節電に協力するため、会場内の水銀灯を50%削減し、また空調も抑える。同見本市は、デザイナープロデュースによるスタイリッシュな空間に、トレンドアイテムが生活シーンごとにゾーニングされ、まさに“ライフスタイルを提案する”会場構成となっているが、今回会場の照明を効果的に落とすことでただの節電ではなく、インテリア効果も狙う。また会場には、節電に関連する製品も数多く出展される。

今回『インテリア ライフスタイル』では、出展者や関係者の支持を得て、様々な企画を通し、被災地の復旧・復興、業界の活性化、そして日本の豊かなライフスタイルを支援にむけて展開する。他の様々なハイライトと共に高い注目を集めている。

出展・来場に関するお問合せ先

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

インテリア ライフスタイル事務局

担当: 武田 / 柴田 / 川津 / 仙當 / 守屋

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F

Tel. 03-3262-8443 Fax. 03-3262-8442

E-mail. info@interior-lifestyle.com

HP. www.interior-lifestyle.com/

報道関係者からのお問合せ先

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

プレス・PR 担当: 久野 / 北島

Tel. 03-3512-3277 Fax. 03-3262-8442

E-mail. press@mesago-messefrankfurt.com

HP. www.mesago-messefrankfurt.com